



ネットワーク

2016. 12. 16発行

No. 2

自治労北海道本部女性部

女性のはたららく権利 確立運動強化月間

つくろう！皆が輝く職場を。 まもろう！皆が働きやすい職場を。



単組から配布されて
いる調査票へのご協力を
お願いいたします。
集計結果を活用
して、健康で安心

そこで、「職場改善実態調査」等を実施し、職場における女性の権利行使の状況や職場実態を把握することにより、今後の取り組みにつなげていきます。

道本部女性部では毎年、12月から4月までを、「女性のはたららく権利確立運動強化月間」と位置づけ、女性が一人の労働者として、健康で安心して働き続けられる職場づくりを進めています。

ご協力をよろしくお願ひします

「職場改善実態調査」

して働き続けるため、各単組・地本での職場改善の活動につなげていきましょう。

職場改善実態調査

組合員対象です。女性が多く関わる権利行使の実態や課題を把握できます。

権利実態調査

単組対象です。集計

月間をお知らせする『グッズ』を各地本・単組が工夫して作成し、女性組合員に配布しています。例えば、年齢早見表やスローガンを記載したティッシュ、女性の声を集めた手作りのポスターなど。さて今年は何をしますか？！

今年は何をしますか？



作成した『グッズ』はぜひ道本部へ送ってください！お待ちしております！

結果を他単組と比較することにより権利の状況を把握します。

集約について

集約は、単組↓地本↓道本部のながれでお願いしています。詳細は、各地本または道本部からの发文を参照ください。ご協力よろしくお願ひいたします！



土田女性部長

月間は12月~4月

じーっと待っていても条例は変わりません…

どうなってたっけ?? うちのま

<改正内容>

介護 ◎介護休暇の取得可能期間（3月）を3つの期間に**分割して取得**できる！

◎**介護時間【新設】** 連続する3年の期間内で、1日につき2時間まで勤務しないことができる！（無給）

◎介護を行う職員の**超過勤務の免除**ができる！

◎介護休暇等の対象家族の**同居要件を撤廃！**

育児 ◎育児休業等の育児支援制度の対象に特別養子縁組の看護期間中の子等も追加
◎マタハラ防止→防止策整備を義務

非常勤 ◎非常勤職員の育児休業・介護休暇の**取得要件を一部緩和！**

育児・介護休業法

変わります

10月14日に国会提出されていた「地方公務員の育児休業等に関する法律及び育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律」の一部を改正する法律案が、11月25日の参議院本会議で賛成多数で可決・成立しました。施行は2017年1月1日となっています。道本部女性部が行っている2016権利実態調査の結果から、介護休暇は9割の単組が「連続する6か月」です。2010年6月に新設された「短期の介護休暇」については、制度なしと回答した単組が未だ30単組あります。

また、非常勤職員の育児休業・介護休暇の適用については6割が未策定と回答しています。月間の取り組みである「権利実態調査」で、権利の再点検をしましょう！2016秋季闘争の交渉結果等を確認し、法改正に遅れることなく各自自治体でも条例改正が実施されるよう確認しましょう！まずは月間中に女性の集まる場を設け、学習・交流で、女性の声を集めてみませんか？！



▲分散会発表の様子=11月25日 東京都

◆斎藤満希書記長（石狩地本・江別市職労）「女性に対する賃金や待遇などの差別を放置して

との交流も楽しみました！

2017自治労女性労働学校（前期） 道内の女性組合員と学習・交流！

11月25〜27日東京で自治労女性労働学校が開かれ、北海道から2人が参加しました。社会情勢や賃金闘争の講義を聞いた作りの実践もあり、労働組合の基礎を学びました。夕食交流



▲写真左が加藤聡美さん、右が斎藤満希書記長

人権を保障しないまま『活躍』を押し進めるのは、戦前の『動員』と変わらない」という話が印象的でした。賃金制度も働き方も憲法も、次々に変えられようとしている

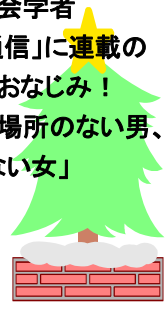
女性交流集会 《お知らせ》

☆とき 2017年1月28日(土) 10:00~
☆ところ 札幌市・自治労会館
☆講師 水無田 airflow さん
詩人・社会学者



女性政治学習会

☆とき 2017年1月29日(日)9:00~
☆ところ 札幌市・自治労会館
☆講師 徳永エリ参議院議員
TPPIにより日本や北海道にどう影響があるのかズバリ！聞きます



「自治労通信」に連載のコラムでおなじみ！
著書「居場所のない男、時間がない女」

※詳細は、發文668号を参照ください

現状の異常さを再認識できました。◆釧根地本・標津町職 加藤聡美さん 衝撃の事実が次々と：知らないうちに悪い方向へ変えられている恐ろしさを実感しました。全国各地の女性と悩みや不安を共有し、教宣紙づくりやTV・インターネットの方に読んでもらいたいです。とても貴重な学習&体験でした。